

REITレポート

グローバルリート市場レポート (2023年5月号)

グローバルリート市場 (除く日本) の動向 (2023年4月)

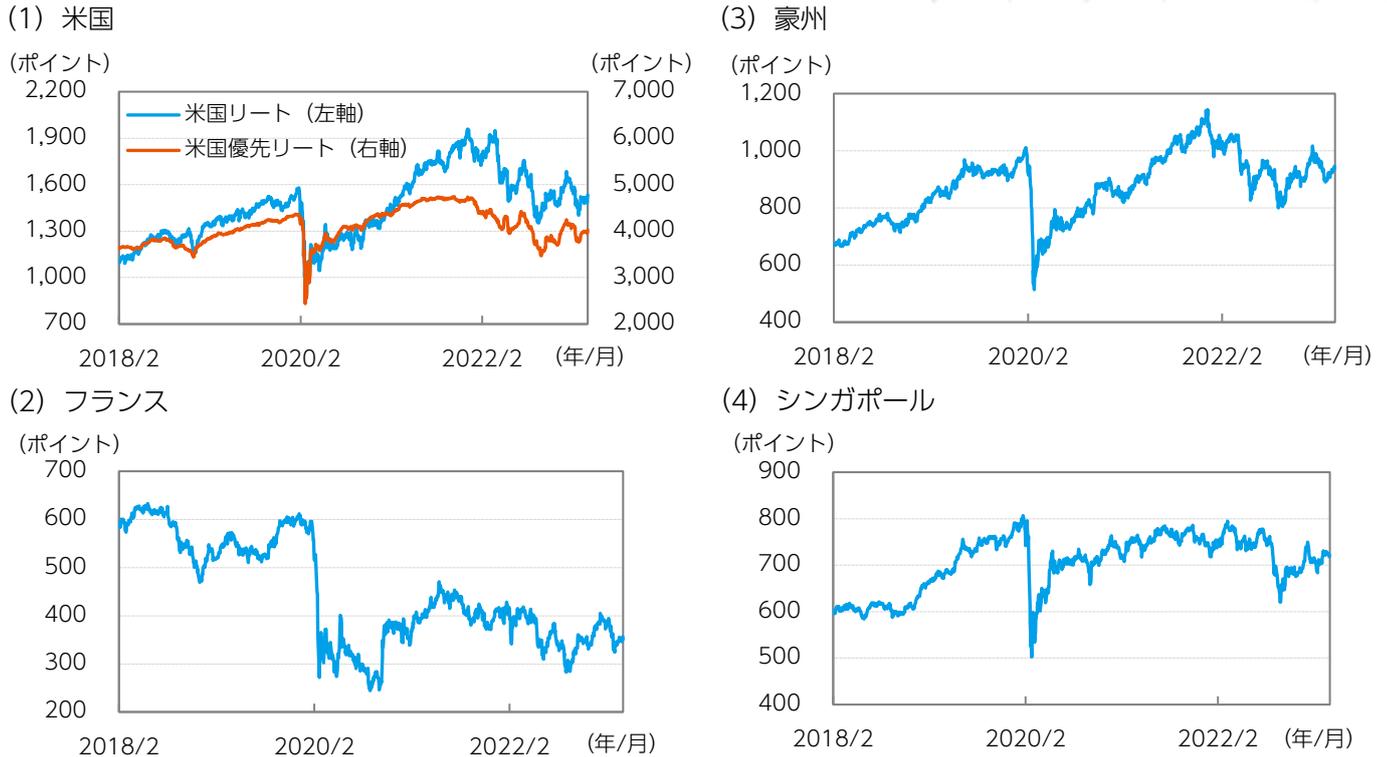
- ▶ 4月のグローバルリート市場 (除く日本) (配当込み) (S & P 指数ベース) (前月末比) は1.4%上昇しました。米利上げ継続への警戒感がやや後退したことや、金融不安への過度な懸念が後退し、投資家がリスク選好姿勢を強めたことなどから、すべての国・地域が上昇しました。
- ▶ 4月は主要8セクターのうち、ホテルリゾート・オフィス・倉庫を除く5セクターが上昇しました。3月までの長期金利の上昇が落ち着き、リートの借り入れコストの低下が期待されたことなどから、相対的に長期で資金の借り入れを行うヘルスケアの上昇率が同+5.2%とトップとなりました。
- ▶ 4月のパフォーマンスは、現地通貨ベース、円ベース共に、グローバル株式を下回りました。
 (参考) 当月のグローバル株式 (MSCI - kokusai (除く日本、配当込み)) のパフォーマンス
 【現地通貨ベース】前月末比+1.6% (年初来+9.3%) 【円ベース】同+4.3% (同+13.5%)
- 【米国 (S & P リート指数 (現地通貨・配当込み) ベース) (前月末比) 】
 - 3月の消費者物価指数 (CPI) が前年同月比+5.0%と市場予想 (同+5.1%) を下回ったことや、米銀行の相次ぐ破綻を受けた金融機関への信用不安懸念がやや後退したことなどを受け、0.8%上昇しました。
- 【フランス (同) 】
 - 3月のユーロ圏の消費者物価指数は前年同月比+6.9%と5ヵ月連続で低下したことや、欧米を中心とした金融機関への信用不安が後退し、投資家がリスク選好姿勢を強めたことなどから3.7%上昇しました。
- 【豪州 (同) 】
 - 豪州準備銀行 (RBA) が約1年ぶりに利上げを休止し、利上げの継続による景気減速懸念がやや後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから、5.1%上昇しました。
- 【シンガポール (同) 】
 - 5回連続で利上げを実施してきたシンガポール通貨金融庁 (MAS、中央銀行) が、追加利上げを行うという市場の予想に反し、金融政策の維持を決定したことなどが好感され0.7%上昇しました。

図表1：グローバルリートの国・地域別構成比やパフォーマンス等 (2023年4月末時点)

(1) 現地通貨ベース		(%)		(2) 円ベース		(%)	
	時価総額構成比 (米ドルベース)	パフォーマンス			パフォーマンス		
	当月	当月	年初来		当月	年初来	
世界	100	1.4	3.5	世界	3.7	7.0	
北米	76.5	0.8	3.5	北米	3.1	6.8	
米国	74.8	0.8	3.5	米国	3.1	6.8	
カナダ	1.7	0.1	3.3	カナダ	2.2	6.5	
欧州	8.6	4.9	4.8	欧州	9.0	12.5	
フランス	1.8	3.7	5.2	フランス	7.8	12.3	
イギリス	5.0	6.0	5.8	イギリス	10.3	14.1	
アジア・パシフィック	13.1	3.0	3.7	アジア・パシフィック	4.4	5.4	
豪州	6.5	5.1	5.4	豪州	6.1	6.0	
シンガポール	3.7	0.7	5.0	シンガポール	2.7	8.9	
香港	1.5	1.1	-5.8	香港	3.4	-3.4	
米国優先リート	-	2.7	7.7				

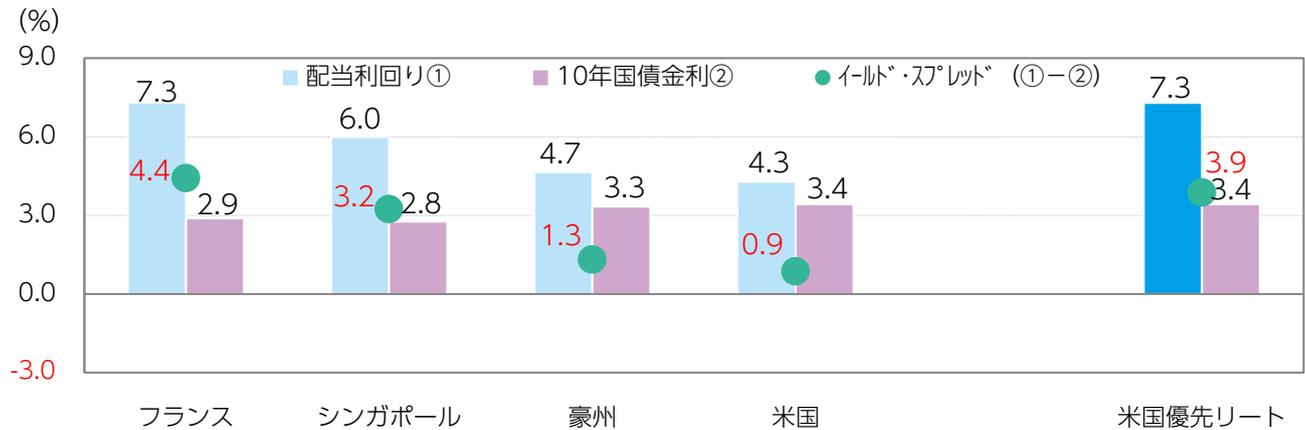
※各国・地域のリート、米国優先リートのパフォーマンス (円ベース含む) はすべてS & P 指数ベース (配当込み) 出所) S & P、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

図表2：主要国リート市場及び米国優先リート市場の指数推移



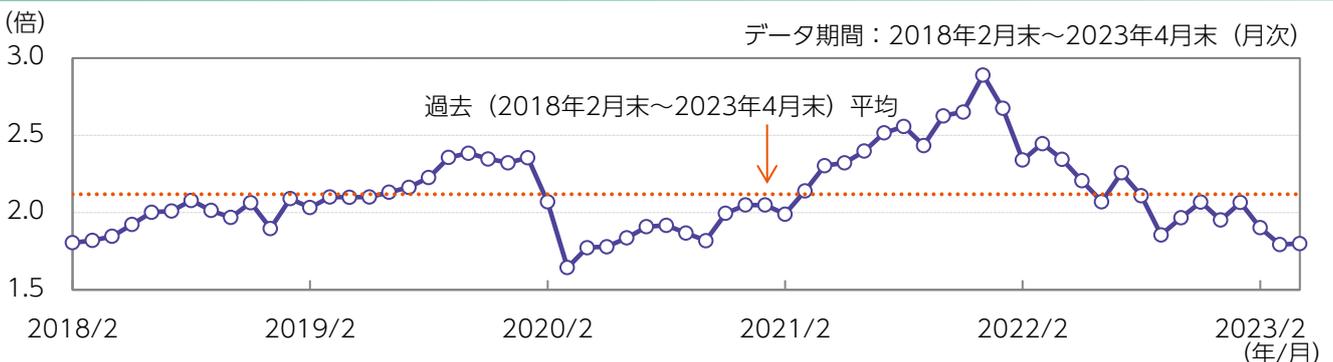
データ期間：2018年2月28日～2023年4月28日（日次）
 ※各国のリート、米国優先リートはすべて S & P 指数ベース（現地通貨ベース・配当込み）
 出所）S & P、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

図表3：主要国リートのイールドスプレッド（配当利回り－10年国債金利）（2023年4月末時点）



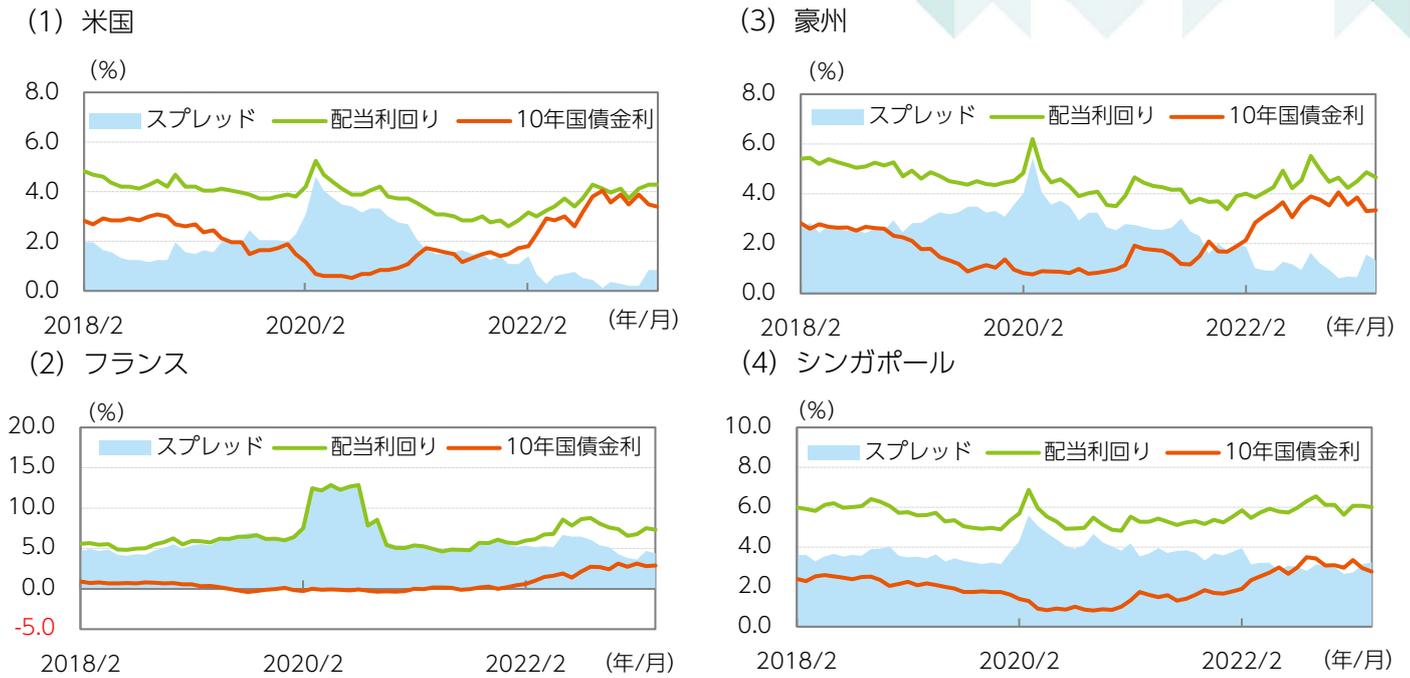
※各国のリート、米国優先リートはすべて S & P 指数ベース
 出所）S & P、ブルームバーグ、アライアンスバースタインのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

図表4：グローバルリートのP B R（株価純資産倍率）の推移

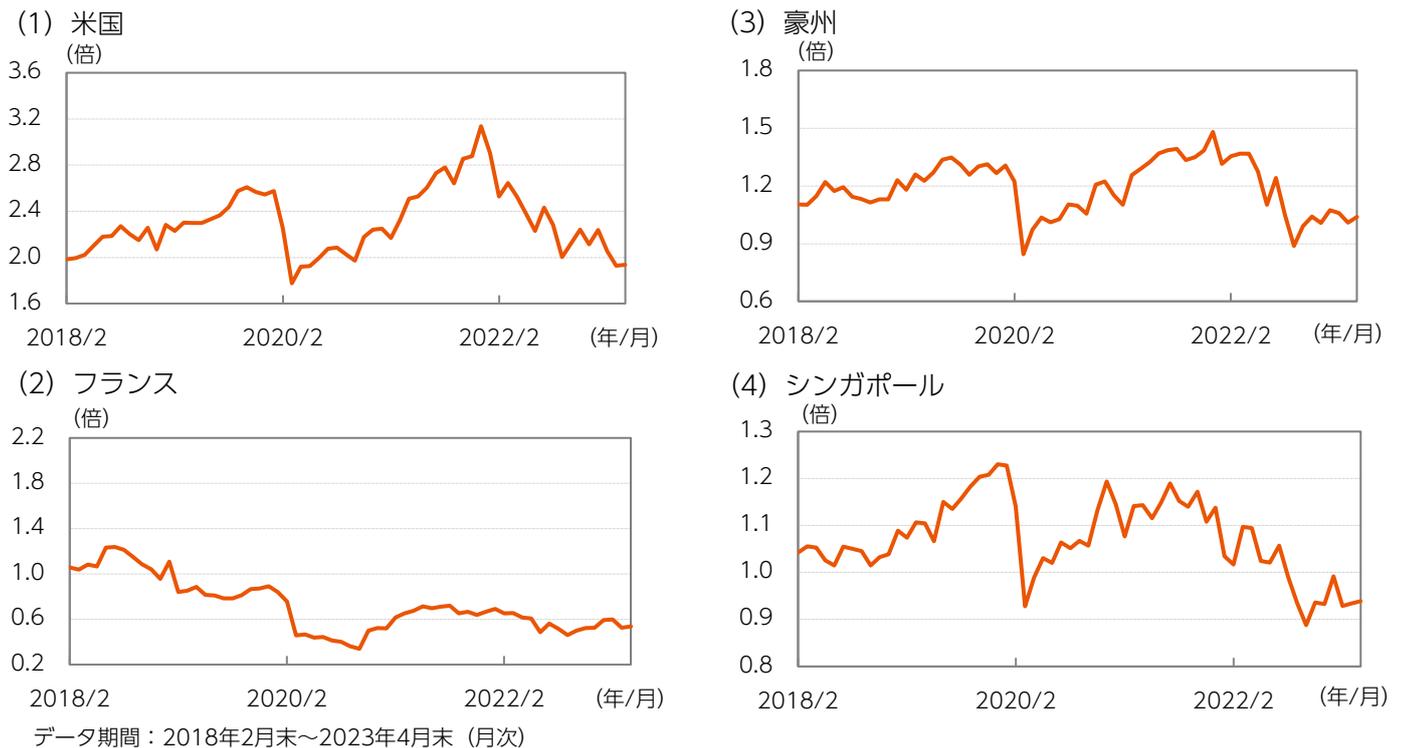


※米国・フランス・豪州・シンガポールリートの各月末P B Rの時価総額加重平均（S & P 指数ベース、時価総額は米ドルベース）
 出所）S & Pのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

図表5：主要国リートの配当利回りと10年国債金利推移



図表6：主要国リートのP B Rの推移



図表7：主要国リートのFFO (注) の見通し推移 (2023年4月末時点)



※図表5～7の各国リート指数はすべてS & P指数ベース (現地通貨ベース)
出所) 図表5～6はS & P、ブルームバーグ、図表7はアライアンスパースタインのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

ニッセイアセットマネジメント株式会社

4/4